

第3章

本市の教育のめざす方向

1 基本理念

基本理念については、計画の基本的な方向性を示すものであり、令和10年度（2028年度）までの教育振興基本計画全体を通して共有すべきものであるという観点から、後期計画においても前期計画と同様の基本理念とします。

認め合い とともに生き 未来を切り拓く^{ひら}八尾の教育

人生100年時代*や超スマート社会*の到来など、教育を取り巻く社会情勢は急速に変化しており、今後の社会の予測が難しくなるこれからの時代において、誰もが互いの人権を尊重し、仲間とともに夢に向かってチャレンジする力や、多様な人々と協働しながら新たな価値*を創造する力、さまざまな困難を乗り越えることで、自らの人生を切り拓くことのできる力などを身につけていく必要があります。

また、子どもから大人まで、主体的な学びを通じて視野を広げ、知識や経験を分かち合い、高め合うことで、人生や社会を豊かにしていくことが求められています。

そして、よりよい社会を創る観点からも、生涯にわたって教育が果たす役割は大きく、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもの最善の利益を考え、社会全体で未来を担う子どもの成長を支えていく必要があります。

こうしたなか、本市の教育においては、これまでの教育振興計画で基本理念として掲げた「人権と共生の21世紀を担う人間の育成」という考え方を継承しつつ、さらなる教育の振興を図ります。

そのため、生涯にわたって互いの人権や個性を尊重し認め合い、また、すべての人がともに学び、自他を高め、支え合って生きていく力をさらに育んでいくことにより、一人ひとりが自分の可能性を信じ、夢に向かって自らの人生と、八尾の未来を切り拓いていってほしいという想いを込めて、基本理念を「認め合い とともに生き 未来を切り拓く^{ひら}八尾の教育」としました。

2 基本方針

第3章の①に定める基本理念の実現に向けて、SDGs*が掲げる“誰一人取り残さない”“誰一人取り残されない”という理念や精神的な豊かさや健康までを含めて幸福や生きがいを捉える「ウェルビーイング*」という考え方も踏まえて、以下のとおり4つの基本方針を定めます。

基本方針1 夢に向かってチャレンジし、未来を切り拓く力を育成します

知識・情報・技術をめぐる変化が今後さらに加速化する中で、一人ひとりが豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の担い手となることができる力を育むことが求められています。

- ◆ 学校の教育活動において、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善により、社会でたくましく生きていくために必要な力を育み、道徳教育、人権教育等により、豊かな心を育みます。
- ◆ 就学前教育から小学校教育への円滑な接続を図るとともに、小中一貫教育*を推進し、子どもの発達や学びの連続性を踏まえた教育活動を行います。
- ◆ 地域に育つ子どもたちが、多彩な地域活動や学習の機会を通じて、豊かな心を持った、健康でたくましく、いきいきとした青少年に成長する取り組みを進めます。

基本方針2 学びを支えるセーフティネットを構築します

教育機会均等の観点から、いじめ、不登校、障がいのある子どもや日本語指導を必要としている子どもなど多様な教育ニーズに対応した支援体制の充実やインクルーシブ教育の推進、家庭の状況等に関わらず自己実現できる施策の推進などが求められています。

- ◆ 一人ひとりが自らの課題を乗り越え、自己の可能性を伸ばし自立することができるよう、一人ひとりの多様なニーズに対応した教育の推進、教育相談及び教育支援の充実を図ります。
- ◆ 経済的な理由等により、子どもが進学や修学を断念することがないように、必要な支援を行います。

基本方針3 生涯にわたって学びを重ね、人生を豊かに生きられる環境を整えます

人生100年時代*を見据え、SDGs*で誓われている「地球上の誰一人として取り残さないこと」という観点を持ち、社会やさまざまな状況の変化に対応しながら、継続して誰もが人生を豊かに生きられる環境整備が求められています。

- ◆ 生涯にわたり自ら学び、あらゆる機会や場所において学び続けられる環境を整えるとともに、学んだことを地域で実践・活躍できる環境づくりを進めます。
- ◆ 市立図書館では、市民が必要とする資料の収集・保存・提供に努めるとともに、利用しやすい図書館づくりを進めます。

基本方針4 地域とともに、社会の変化に応じた教育環境をつくります

教育コミュニティづくりへ向けた体制整備や、一人ひとりの可能性とチャンスを最大化できるよう、教育環境の整備・充実が求められています。

- ◆ 学校・家庭・地域の連携・協働を進め、本市の実情に合った地域とともにある学校づくりを進めます。
- ◆ 学校におけるICT活用の推進など、社会の変化に応じた学習環境の充実及び学校施設の整備を進めるとともに、将来を見据えた学校規模等の適正化などに取り組みます。
- ◆ これからの時代に対応できるよう教職員の資質向上を図るとともに、学校における働き方改革*や「チーム学校*」としての組織力の強化を図ります。

3 計画の体系

[基本理念]

[基本方針]

[施策]

認め合いとともに生き 未来を切り拓く^{ひら}八尾の教育

1 夢に向かって
チャレンジし、
未来を切り拓く
力を育成します

1-1 幼児教育の充実

1-2 確かな学力の育成

1-3 豊かな心の育成

1-4 健やかな体の育成

1-5 子どもたちの人権を守る教育の充実

2 学びを支える
セーフティネット
を構築します

2-1 多様なニーズに対応した教育の推進

2-2 教育相談および教育支援体制の充実

2-3 学びと育ちの経済的支援

3 生涯にわたって
学びを重ね、
人生を豊かに
生きられる環境を
整えます

3-1 人生 100 年時代を見据えた生涯学習
社会の実現

4 地域とともに、
社会の変化に
応じた教育環境を
つくります

4-1 教育環境の整備・充実

4-2 学校における指導・運営体制の充実と
働き方改革の推進

4-3 児童生徒の安全確保

4-4 学校・家庭・地域の連携・協働の推進

4 ウェルビーイングの考え方と本市の教育のめざす姿の関連性

前述（P.7参照）のとおり、教育を通じて、子どもたち一人ひとりと、個人を取り巻く場や地域、社会のウェルビーイング*の向上を図っていくことが求められています。国の第4期教育振興基本計画で示す方向性は以下のとおりで、学校教育に限らず、生涯学習を通じて、地域コミュニティを基盤としてウェルビーイング*を実現していく視点も含まれています。

- 不登校やいじめ、貧困、虐待など、コロナ禍や社会構造の変化を背景として子どもたちの抱える困難が多様化・複雑化する中で、一人ひとりのウェルビーイング*を確保
- 子ども・若者に、つながりや達成などからもたらされる自己肯定感*を基盤として、主体性や創造力を育み、持続可能な社会の創り手の育成を図る
- 地域における学びを通じて人々のつながりやかかわりを作り出し、共感的・協調的な関係性に基づく地域コミュニティの基盤を形成

社会全体のウェルビーイング*の実現に向けては、子どもたち一人ひとりが幸福や生きがいを感じられる学びを保護者や地域の人々とともにつくっていくことで、学校に携わる人々のウェルビーイング*が高まり、その広がりが一人ひとりの子どもや地域を支え、さらには世代を超えて循環していくということが求められています。

また、子どもたちのウェルビーイング*の向上においては、ウェルビーイング*と学力を対立的に捉えるのではなく、個人のウェルビーイング*を支える要素として、学力や学習環境、家庭環境、地域とのつながりなどがあり、それらの環境整備のための施策を講じていくという視点が重要です。加えて、社会情動的スキル*やいわゆる非認知能力*を育成する視点も重要となります。

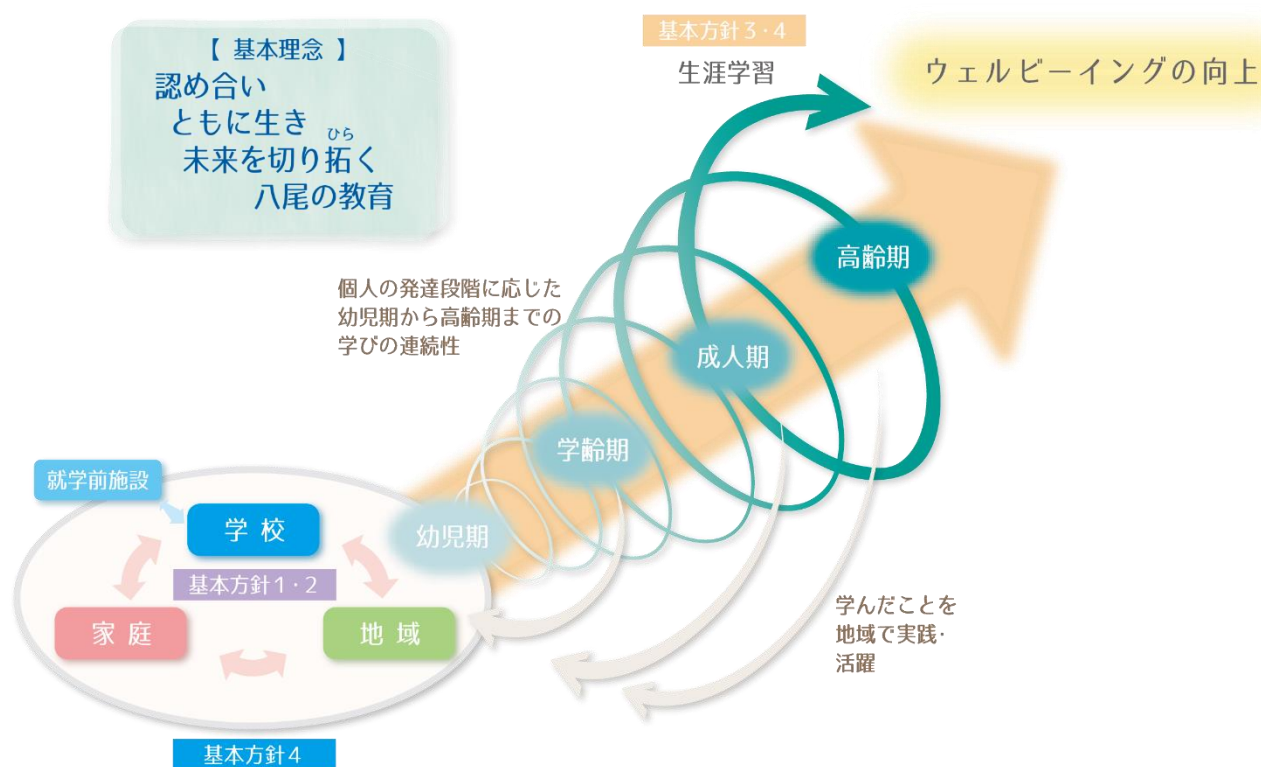


出典：文部科学省 『第4期 教育振興基本計画』

このようなウェルビーイング*に関する国の動きや考え方を受けて、本市では、以下のとおり、教育における基本理念の実現を通じて、子どもたちをはじめ社会全体のウェルビーイング*の向上をめざしていきます。

- 「認め合い ともに生き 未来を切り拓く八尾の教育」の実現に向けて取り組むことで、市民一人ひとりが自分の可能性を信じ、夢に向かって自らの人生と、八尾の未来を切り拓いていくと同時に、個人と社会のウェルビーイング*の向上をめざします。
- よりよい社会を創る観点からも、生涯にわたる教育が果たす役割は大きく、学校・家庭・地域が連携・協働し（横のつながり）、子どもの最善の利益を考え、社会全体で未来を担う子どもの成長を支えていきます。
- そして、「学びの循環」「知の循環」を促進し、市民の心豊かな暮らしと、持続可能な生涯学習社会*となるよう、学んだことを地域で実践・活躍できる環境づくりを進めていきます。

本市の教育のめざす姿



※ 幼児期から高齢期までの学びの連続性（縦のつながり）と、子どもから大人まで、主体的な学びを通じて視野を広げ、知識や経験を分かち合い、高め合っていくことを螺旋状にしてあらわしています。